

10:00

エリア企画スタート



講師
田村 あやさん
整理収納アドバイザー
パーソナルスタイリスト

会場には名札が置かれたテーブルがあり、参加者はスムーズに着席。エリア委員による講師紹介や講師挨拶などがあり、リラックスした雰囲気の中で講座がスタートしました。

10:15

お片づけクイズ

「お部屋を片づけないとどうなると思いますか？」と講師が問いかけると、子どもたちから「自分の大切な物が見つからなくなる」「汚くなる」など次々と声が上がりました。それらの答えを受けて、「お部屋が片づいているとどんな良いことが起こるでしょう？ 無くし物や忘れ物が減り、すぐに使いたい物が見つかります。きれいなお部屋で気持ちよく過ごせ、お友達も呼べるし、おうちの人もニコニコ、良いことでいっぱいですね」とお話があり、みんなできれいなお部屋のイメージを広げました。



○×クイズに挑戦！

10:30

お片づけのワークにチャレンジ

はじめに文具や洋服などが描かれたカードを「使っている」「使っていない」に分け、それをまたグループに分類、その後それらを紙面上の本棚や洋服ダンスにしまいました。「使う場所に置く」「よく使う物は、手が届く場所に置く」「重いものは下の方に置く」などのポイントも聞き、子どもたちは「ランドセルはここかな？」「弟も使うから手の届く場所がいいね」と家族で仲良く相談する姿が見られました。



11:00

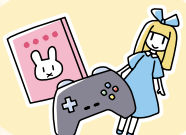
お片づけについて

左ページをご覧ください

【学校・勉強のグループ】



【家・遊びのグループ】



【服・身だしなみのグループ】



11:20

講座終了。 お持ち帰り品の プレゼント



エリア委員さん
お手製の紙バッグに
お菓子が入って
いました♪

お片づけ講座参加者の感想



お片づけが苦手だけど、今回の話を聞いてお片づけって楽しいんだなと思いました。来てよかったと思いました。楽しかったです。



とても分かりやすかったです。今日学んだことを家に帰ってからやってみたいと思います。私は推しのグッズをもう1回分けてからしまいたいと思います。



片づけないと物にぶつかって危なかったり、物が見つからないということがわかった。



物を分ける具体的なプロセスを子どもが学べて良かったです。物の配置を見直していきたいです。



改めて知ったことがたくさんありました。まずは自分が頑張って、子どもにも何度もチャレンジしてほしいです。家の中を暮らしやすくできるようにしたいです。



8月7日(木)、お片づけの仕方や物を大切にすることを学ぶ「お片づけ講座」が、新潟市南区の白根学習館で開催され、親子15組が参加しました。整理収納アドバイザーの田村さんによる講座の一部と当日の様子を報告します。

お片づけについて

お片づけって何？



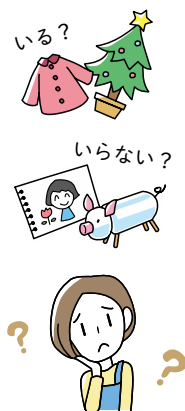
お片づけとは、使った後に元の場所に戻すことです。でも戻す場所がきちんと決まっていなければ片づけはできません。まずは、「出す」「分ける」「しまう」の3つのステップで物を整理して、置き場所を決めましょう。

ステップ1 『出す』

まず、引き出しの中身を全部出します。自分がどのぐらいの物を持っているかということが分かり、大抵の場合はびっくりします。一旦出してみることで、一つの物に向き合えるようになります。

ステップ2 『分ける』

物を整理する時、いるか、いないかで考えると「もったいない。また使うかも」と感じて全部いるような気がするころがあります。ではどうするか、使っているか使っていないかで分けるようにします。例えば、この1年間で使ったかな？この先の1年で使うかなという感じですか。クリスマスツリーは、毎年飾っているなら「使っている」ですが、何年もしまえば「使っていない」に分類



けられます。ただし、防災グッズや大切な思い出の物は、この限りではありませんが、普段使いの物は、このやり方で分けてみましょう。

ステップ3 『しまう』

出しやすく戻しやすい場所を決めてしまします。仕切りを使うと、きれいな状態をキープしやすくなります。このステップ3までができれば、あとはみんなが毎日「使ったら元に戻す」をやるだけです。

大人の皆さんへ

第一に戻す場所決め



「子どもにやる気さえあれば片づけはできる」と思われますか？ 正解は×。本人にやる気があっても、その物を戻す場所がなければ片づけることはできません。その物を戻す場所が決まっていることと、それを子どもや家族が分かっていることが大切です。また、物の置き場所を決めるときは、子どもをよく観察してみましょう。どこを通過してどんな行動をしているのか、どの位の高さだと出し入れしやすいのか、それによってその子にとってやりやすい場所が決まってくると思います。

★ 声のかけ方とタイミング

「片づける」という言葉がイメージにくいお子さんいます。「ハサミ片づけて」ではなく「ハサミを使ったら元に戻してね」「小さいお子さんだったら「ハサミをおうちに戻してあげよう」なんて

いうのも良いですね。また、夢中になっている時に声をかけられて「あとで」となるのは大人も子ども一緒です。おすめは行動が切り替わるタイミングです。例えばご飯の前、お風呂の前、寝る前などが行動しやすいです。

★ 取り出しやすく、戻しやすい仕組み

子どもは使い終わった瞬間に、それに対して意識が向かなくなります。例えば、お菓子の袋をハサミで切ったら、切り終わった時、ハサミはどうでもよくなって、お菓子の方に意識が向いています。ゲームの時も、次のゲームソフトをセットしたら、さっきまで遊んでいたソフトは無意識にその辺に置いてしまふ。だから、いかに簡単に戻せるかはとても重要です。大人は、子どもがやりやすい仕組みを工夫してあげましょう。たとえば、ゲームソフトは「出す」「しまう」が同時にできるケースに変えてあげると出し入れが簡単になります。また、戻す場所が分かりやすくなるようにラベルを貼るのも有効です。

★ 大人の役割はサポート

大人は、子どもが片づけしやすいようにサポートする、子どもが決めたことを見守ることが大事だと思います。散らかった状態を見るとイライラしてしまいがちですが、よく考えるとその状態は、お子さんが一生懸命に頭を使ったり体を使ったりして何かに取り組んだ結果です。遊びは子どもの成長にとって欠かせない大切な活動ですね。それなら、そこで大人がしてあげるべき

お子さんとお片づけは、毎日忙しい中で本当に大変ですよ。でも、続けていけば、きっとお子さんの成長を感じられる瞬間がやってきます。焦らず、お子さんと一緒に楽しみながら、少しずつ頑張っていきましょう。



なのは、子どもが片づけられるようにサポートすること。一緒に片づけながらやり方を見せたり、教えたりしてあげることです。大人だって、やり方が分からないことはできませんよね。必要以上に口を出さず子どもに決断を任せることにより、「自分で考えて決める力」も身に付けることができます。片づけの習慣は一朝一夕では身につかないので、繰り返し伝えていきましょう。

他のエリアでも

楽しいイベントを開催しています！



ホームページ

各エリアのイベントは『エリアだより』『ホームページ』『Instagram』でぜひチェックしてみてくださいね！



Instagram

エリアだより